



SETAGAYABASE TRAILER PROJECT

アメリカからやってきたエアストリームを
キッチンカーにしちゃおう!!

アメリカで購入したエアストリームが日本にやってきた。

アリゾナで購入した 33 フィートは

あまりにも内装が良く出来ていたので、そのまま使うことにし、

ロスでゲットした 16 フィートをキッチンカーへ改造することに。

世田谷ベース初のエアストリームカスタムプロジェクトが始動しました。

果たして、どんなキッチンカーが完成するのでしょうか??

カスタムの一部始終を、ご紹介致します。

Text&Photo/Go NAGATA

AIRSTREAM
Orange County
877-718-3377

COUNTY.COM

WWW.AIRSTREAMORANGECOUNTY.COM

**Before**

小さなエアストだからって
装備は至れり尽くせり
解体前の最後の姿をご覧あれ

16 フィートは、エアストリームの中では小ぶりなサイズ。

とはいって、キッチン、冷蔵庫、シャワー、
トイレ、ソファ、ダイニングテーブル、オーディオ、
テレビ、セミダブルのベッドなどなど、

至れり尽くせりの装備がパッチャリインストールされております。

新車なので、当然内装もピカピカ。



こちら、ソファーとダイニングテーブル側。こんなに立派な内装をこれから解体しちゃいます。でも、これ、苦渋の決断なんです。そもそもこの16フィートは最初からキッチンカーにする予定で購入したものなので、アメリカに行く段階で、内装の無いドンガラを売って下さいと頼んでみたのです。しかし、そういうのは販売してないそうで、キッチンカーを作りたいなら、新車を買って内装をやり直して下さいって、本社が言うもんですから、仕方なく……。

思いきって
いってみよう !!
解体作業開始 !!



丁寧に大胆に、思い切りよく

内装もアルミパネル剥き出しのエアストリーム 捲ててしまふような箇所は壊しても良いけれど、アルミパネルに傷をつけないよう、慎重に作業は進められました。しかし、慎重にならざりざりしてしまうと、全然作業が進みません。時には、力業でマイヤツ! やつづけてしまわないといけないバーツもあるのです。思ひ切って大事、エアストームは、外装が出来上がったから内装が組み立てられているため、全てのバーツが入り口のところから、出せるサスになっていました。シャワールームも洗面庫もキッチンも、コレ出ないんじゃない?って大物はすべて、斜めにしたり、回転させたりすると、ギリッギリぶつからずに外に出せちゃいます。考えられてますねえ、朝から始めて、夕方には、全てのバーツを外に運び出し終わりました。



Blueprint

どうやって改造する?
最高のキッチンカーを
考えてみよう!!

内装パラシの次は、図面の製作。
きっちりと内装の寸法を計測し、
完璧な図面を書き起こして
みることにしましょう。

必要な装備、色味、デザイン、などなど、
所さんと打ち合わせして、
イメージを可視化してみましょう。

換気扇のフードは
アルミ製?

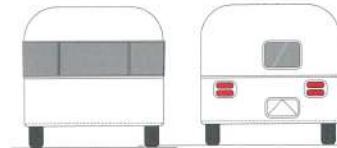
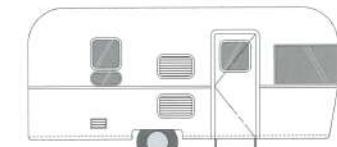
コンロの上には大きな換気扇を配備予定。エアストのラウンドした内装にピッタリハマるフードをアルミで作りましょう。

ワイワイ盛り上がって
外を眺めて調理しよう

コンロは開閉できる窓の前にすれば、外を見眺めながら料理できます。加えて、換気の効率を高めるのも狙い。日差しが差しこみ、日中は電気を付けなくても、手元が明るいという利点もあります。

せっかくだったら
オープ機能も
欲しいところ

食材を簡単に温められるよう、電子レンジは必須。でも、せっかくレンジを入れるなら、オープン機能も欲しいところ。サイズ的にピッタリマッチの機種を探します。



窓の位置や高さなど、
採光をきっちり考えよう

気持ちいい空間にするためには、部屋の中に入ったときの明かりの抜け具合はとっても大切。ノーマルのエアストの場合、家具が窓を遮ってしまうため、中心部分が奥方に暗い。今回のキッチンカーは、全ての窓から採光ができるよう、全ての家具は窓の高さから下、あるいは、窓を遮らない場所へ設置することに。

BEFORE



こちらがノーマルの図面。ベッドルームと、シャワーが壁で仕切られているので、抜けが無く空間としては狭く感じてしまいます。キャンピングトレーラーとしてはとても小さなサイズなので、スペースを有効に使えるよう設計しないと、狭くて使いにくいキッチンになってしまいます。

AFTER

トビラは全部なし
何でも見せて
絵柄にしよう

可愛いお皿やカゴイ調理器が並んだ姿も絵柄として作りこむよう。キッチンの横には、全てトビラを付けません。家具は全てチークを使って製作します。

一枚板を使って
無垢のカウンターを
作ってみよう

チークの原木を使って、カウンターを。高さはキッチンの天板よりも、ちょっと低い位置に。所さんの使っているピンタージュのデスクチェアを置いていた際にもうどう良い高さにならのように設計します。

なるべく作業
スペースを増やそう

大量に料理をすることを考慮して、キッチン部分への導線となる場所には、折りたたみ式の天板を装着。出入りする際には、折りたたみ、大量的の食材をさくらんばんスペースが必要になった場合には、天板を上げれば作業スペースは大きくなるという仕組み。

キッチンの向こう側
にはカウンターを

奥様が作った料理を並べたり、料理を作っている奥様の脇でお茶を飲んだりするスペース。キッチンの天板よりも若干低い位置に、無垢のチークで作った天板を使ったカウンターを作ります。

大きすぎず、
小さすぎず……

ステンレス製のシンクは、天板の裏側に合わせてカーブ。蛇口は、シャワータイプのモノをセレクトし、食器を洗う際の利便性を考えています。壁が全面銀色なので、同系色のステンレスはシンクと蛇口とコントラストで、黒い天板に差し色のようにシルバーが輝きます。

備え付けの椅子は
無い方向で

カウンター用の椅子は、世田谷ベースにあるアンティークのデスクチェアを配備する予定。色違い、デザイン違いのピンタージュチアが、ラブに並んでいるイメージ。しっかりと作られた木工のカッティングとカウントターカーに、ラブに並んだ色違いのピンタージュチアというコントラストで空間を演出することができます。

コンロは絶対に
4つ口

料理が大好きな奥様のためにしてあるキッチンカー。最も重要な装備の一つとして挙げられるのがコンロ。4口以上で、火力が強くて、デザイン性に優れているという3つのポイント。

天板の高さは
奥様に合わせて

実際にこのキッチンで料理をするのは奥様。ココで重要なのは、キッチンの高さ。奥様が普段使用している自作のキッチンの高さを測り、それを同じサイズにすることに。天板の素材は大理石。色は黒系のモノをセレクト。

冷蔵庫は普通の
家电を入れれば良い?

当初の打ち合わせでは、冷蔵庫は一般的に流通している総長のモノをいれて簡単に満喫せる予定でしたが、採光や空間の重心地を考えてみると、高さのあるモノをセレクトするのはちょっとNG。ということで、天板の下に、業務用の冷凍冷蔵庫を配置。



床を徹底的に検証しよう

床材を貼る前に、床の現状を正確に調査。大きく飛び出たタイヤハウスを設計通りに上手く家具で隠すことができるか？床に埋まっている配線の処理は可能か、汚水の配管の取り回しをどのように変更するか……。始まる前に徹底的に検証。やり直しの作業が起らないように、注意深く。



Build a Kitchen 全て現物合わせ 何から何まで ワンオフで製作だ !!



切れない記録をどう処理する？

天井の穴から垂れ下がる配線。これは、屋根の上に装着されているエアコンや換気のシステムに繋がっている重要なモノ。切ってしまうわけには行きませんが、このままだらしなく垂れ下がりおくわけにもいきません。壁沿いで露出配管を作り、納まりに収めることに。



家具の外皮は、カウンター同様にチーク材をセレクト。フローリングとして使われる無垢のチーク材を手に入れ、貼面に貼り込んでいきます。



折りたたみ式天板を作ろう

キッチンスペースを最大限大きくるため、キッチンスペースの入り口には、折りたたみ式の天板を装着。大理石の意匠天板にも耐えられる、自大な縫合で、天板を固定。フットswitchで天板を上げ下げ可能。使い勝手を考慮されております。



コンロの下にはオープンも

黒い大理石の天板に合わせて、ステンレス製のコンロをセレクト。デザイン性にも優れた国産品です。オープンはレンジ機能も兼ねた電気式のものをセレクト。こちらもインターフェイスのデザインと機能のバランスが取れた商品を選びました。



原木を買ってスライスする？

まずは素材の発注から。カウンターを製作する方にテークの原木を手に入れます。15センチ程度の厚みでラブにスライスされた原木を、更に10センチ程度の厚みにスライス。その後、エアストのアールに合わせてカットすれば、一枚板のカウンターが完成します。



Make a Counter Table

原木を使って 無垢のカウンターを 作ろう !!



ジグソーを使って原木をカット。何度も調整を重ねたジグがベースになつないので、その通りにカットすれば、絶対ピッタリ装着できるはず。エアストの内壁は上から今まで壁が垂直では無く、下に行けば行くほどに壁がすぼまっていくので、切削面は若干アーバーさせる必要があります。エッジはサンダーで処理。



同様の作業を経て、ドアを入って正面側のカウンターも製作。入って右手の窓側のカウンターと接合すれば、ヨコの字型の大きなカウンターの完成です。



計算通りにパッチリ

ベニヤで板金の脚を作り、天板を置いてみました。寸分の狂ひもなく、無垢の天板がエアストの大きな窓の下に収まりました。これは相当良い感じ。合板とは一線を画す、無垢らしい重厚感がある天板が完成しました。



お子さんの安全も考慮して

お孫さんが出入りする空間なので、カウンターのエッジには、常にアールを付けて、なるべく怪我しないような形状に。北欧家具のような雰囲気に仕上げました。

Delivery

ついに完成!! 世田谷ベースに エアストリームがやってきた!!

ハマー H2 に牽引されて、所さんのキッチンカーが
完成お披露目の為に世田谷ベースに搬入されました。

別荘へ設置前の段階なので、電気もガスも水道も動きませんが、
内装は完璧に仕上がっておりま

所さんの想像通りのキッチンカーになっているでしょうか?



小さいと思いや 相当大きいぞ16フィート

16フィートのエアストリームと言ふ
なら、シリーズの中では少し大きめ
なのかな? さて見て見てよ。
みんなに小さく思えてしまうほど、世間
で「かわいい」とか「かわいい」とか
結構多い言葉の「日本車」のい
とも簡単にハマる「理由」が、アース
新エントリーしてきましたみんさん
が大人だったと驚き…

